籔内　祐伽

高 65 期

ホテル勤務

100 周年おめでとう！！！

入学当初、私は「このピンク色の校舎の学校で青春を謳歌出来るのだろうか…。」と期待と不安でいっぱいでした。そんな私は、ピンクのメガネにピンクのリュック、ピンクの腕時計にピンクのスニーカーという格好で、ピンクの自転車に乗って登校していました。

人を楽しませることがしたいという気持ちで、演劇部に入部しました。1 年次に入部した当初は、3 年生の先輩 4 人と 1 年生が 5 人の計 9 人でした。しかし、3 年生の先輩方は受験を控えていたのであっという間に引退されました。その後 1 年生 5 人のみという少ない人数で活動することになり、2 年次に私は副部長を務めることになりました。1 年次の 1 回の公演しか経験しかなかったものの、部長や部内の仲間と試行錯誤をして、演劇部を盛り上げようとクリスマスやバレンタインなどのイベント時にはちょっとした仮装をして学校を練り歩いてみたり、年に1回文化祭公演のみだった公演の数を増やしてみたり、様々な創意工夫をしてきました。部活動を通して、仲間の大切さや皆と一緒に作品を創り上げていくことの難しさを学びました。また、顧問の先生からいただいた「困ったときはヘルプイーチアザーやで。」「人を楽しませるためには、まずは自分が楽しまないと。」という言葉は今でも忘れません。

登美丘高校は勉学と部活動はもちろん、イベントにも力を注いでいる学校です。春には遠足とクラスマッチ、秋には歌合戦に文化祭に体育祭と盛りだくさんです。当時は忙しくて毎日があっという間でしたが、思い返せばとても充実した 3 年間を送っていました。本当に楽しい高校生活でした。ピンクの校舎で、ピンク好きの私は無事青春を謳歌しました。

高校生活で経験し学んだことは、後の大学生活や仕事でも必ず役に立ちます。勉学については先生方がしっかりとサポートをしてくださり、部活動やイベントでは仲間と切磋琢磨しながら教科書には載っていないこともたくさん学び吸収することが出来ます。在校生のみなさん、そしてこれから入学する皆さん、100 周年を迎えた登美丘高校をこれからも盛り上げていってください。そして、高校生活を全力で過ごして青春を謳歌してください！！

■プロフィール

1998 年 11 月 20 日生　京都府出身

2017 年 3 月　登美丘高校卒業

2021 年 3 月　関西大学　社会学部　社会学科　メディア専攻卒業

2021 年 4 月　ホテルに就職